

水道事業の概要

平成31年4月1日現在

須賀川市上下水道部

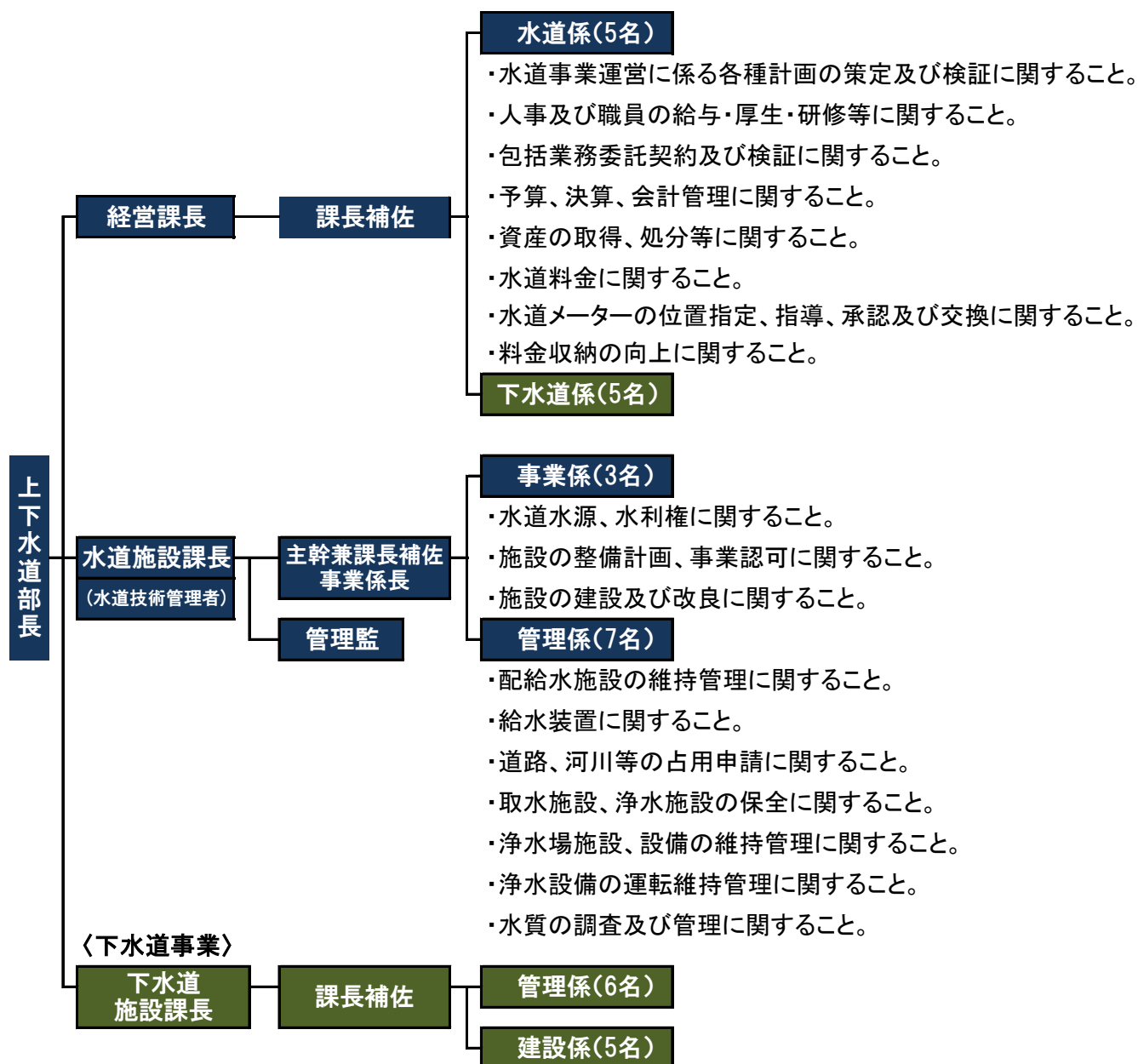
目 次

	ページ
1 組織	1
2 人事	1
3 各地域の水道事業の概要	2
4 用途別給水件数と給水人口	3
5 配水量及び有収水量	3
6 平成30年度事業収支	3
7 現行水道料金(平成19年10月～)	4
8 加入金及び手数料	4
9 水源	5
10 浄水施設	6
11 重要施設の耐震化	7
12 設計・施工管理	7
13 配水管等	7
14 水質管理	7
15 給水装置工事	8
16 営業業務関係	8
17 防災対策	9
18 経営改善取組状況	9
19 推進する事業	10

須賀川市水道事業の概要

1 組織

- (1) 水道事業管理者 ……須賀川市水道事業の設置等に関する条例により非設置
- (2) 水道技術管理者 ……水道施設課長が兼務
- (3) 水道事業職員数(H31.4.1現在) …… 21人 [事務職9人、技術職9人、技工職3人]
- (4) 組織図及び分掌事務



(5) 加入団体

- ア (公社)日本水道協会(上水道)
 - 本会、東北地方支部、福島県支部
- イ 福島県水道協会(勢至堂簡易水道)

2 財務・職員

地方公営企業法及び、地方公営企業労働関連法の適用を受ける。

3 各地域の水道事業の概要

(1) 須賀川地域

事業名	創 設	第1次拡張事業	第2次拡張事業	第3次拡張事業	第4次拡張事業
ア 認可年次	S.8年	S.38年	S.45年	S.57年	H.6年
イ 事業期間(年度)	S.9～S.11	S.39～S.42	S.45～S.52	S.57～S.63	H.6～H.16
ウ 計画1人1日 最大給水量	0.140m ³	0.300m ³	0.400m ³	0.421m ³	0.434m ³
エ 計画1日最大給水量	3,500m ³	8,400m ³	18,000m ³	24,000m ³	31,500m ³
オ 計画給水人口	25,000人	28,000人	45,000人	57,000人	72,600人
カ 総事業費	47万3千円	1億8千万円	7億1千万円	45億4千万円	75億9千万円
キ 認可の概要	・事業創設	・区域拡張 ・水源変更	・区域拡張 ・取水位置変更	・区域拡張 ・簡易水道統合 ・水源追加	・区域拡張 ・浄水方法変更 ・取水位置変更

(2) 長沼地域

事業名	創 設		長沼町広域	第1次拡張事業	第2次拡張事業
	堀込横田簡易	長沼簡易			
ア 認可年次	S.35年	S.37年	S.46年	S.62年	H.7年
イ 事業期間(年度)	S.35～S.36	S.37～S.38	S.46～S.50	S.62～H.2	H.7～H.11
ウ 計画1人1日 最大給水量	0.150m ³	0.150m ³	0.218m ³	0.450m ³	0.458m ³
エ 計画1日最大給水量	73.5m ³	315m ³	1,437m ³	2,700m ³	3,200m ³
オ 計画給水人口	490人	1,700人	6,600人	6,000人	6,900人
カ 総事業費	344万円	1,045万3千円	2億5,496万8千円	3億7,240万円	4億5,938万円
キ 認可の概要	・事業創設	・事業創設	・区域拡張	・区域拡張 ・水源追加 ・浄水場築造	・区域拡張 ・水源増設 ・1日最大給水量 の増加

(3) 岩瀬地域

事業名	創 設	第1次拡張事業	第2次拡張事業	第3次拡張事業	第4次拡張事業
ア 認可年次	S.42年	S.45年	S.46年	S.49年	H.9年
イ 事業期間(年度)	S.42～S.43	S.45	S.46	S.50～S.51	H.9～H.12
ウ 計画1人1日最大給水量	0.150m ³	0.150m ³	0.150m ³	0.356m ³	0.493m ³
エ 計画1日最大給水量	1,043m ³	1,058m ³	1,058m ³	2,065m ³	3,665m ³
オ 計画給水人口	6,430人	6,535人	6,535人	5,800人	7,427人
カ 総事業費	1億2,305万2千円	190万円	340万円	1億2,900万円	7億72万5千円
キ 認可の概要	・事業創設	・区域拡張	・水源追加	・水源追加 ・岩瀬浄水場建設	・区域拡張 ・計画給水人口 ・計画1日最大給水量の変更 ・水源の追加

4 用途別給水件数と給水人口

(H31.3月末現在)

用途別	件数		用途別	件数		用途別	件数	
(1) 家事用	24,774件	90.38%	(2) 団体用	1,676件	6.11%	(3) 営業用	939件	3.43%
(4) 工業用	9件	0.03%	(5) 湯屋用	0件	0%	(6) 車庫用	7件	0.03%
(7) 臨時用	5件	0.02%	合 計	27,410件	100%	給水人口	68,876人	

5 給水量及び有収水量

(H31.3月末現在)

年間給水量	年間有収水量	有収率	1日最大給水量	1日平均給水量	1人1日平均給水量
7,406,840m ³	6,775,515m ³	91.48%	23,215m ³	20,293m ³	294ℓ

6 平成30年度事業収支

(H31.3月末現在)

収益的収入	収益的支出	企業債元金未償還残高	有形固定資産償却未済高
1,713,143,448円	1,500,306,885円	6,322,060,049円	18,297,344,462円

※ 収益的収入・支出は消費税抜きの額

7 現行水道料金

(1) 計量栓料金(水道使用料金)【消費税込月額】

用途区分	基本料金	使用水量	1m ³ 当たりの 使用料金	基本料金1m ³ に対する	
				増加額	増加率
(1) 家事用	1,546.56円	10m ³ 以下	154.656円/m ³		
		11m ³ ～20m ³	219.240円/m ³	64.584円/m ³	41.76%
		21m ³ ～30m ³	235.440円/m ³	80.784円/m ³	52.23%
		30m ³ 超	268.920円/m ³	114.264円/m ³	73.88%
(2) 団体用	1,546.56円	10m ³ 以下	154.656円/m ³		
		11m ³ ～30m ³	259.200円/m ³	104.544円/m ³	67.60%
		31m ³ ～100m ³	281.880円/m ³	127.224円/m ³	82.26%
(3) 営業用	1,546.56円	10m ³ 以下	154.656円/m ³		
		11m ³ ～30m ³	259.200円/m ³	104.544円/m ³	67.60%
		31m ³ ～100m ³	281.880円/m ³	127.224円/m ³	82.26%
(4) 工業用	21,497.40円	100m ³ 以下	214.974円/m ³		
		100m ³ 超	301.320円/m ³	86.346円/m ³	40.17%
(5) 湯屋用	11,184.48円	200m ³ 以下	55.922円/m ³		
		200m ³ 超	73.440円/m ³	17.518円/m ³	31.32%
(6) 車庫用	2,356.56円	10m ³ 以下	235.656円/m ³		
		11m ³ ～30m ³	259.200円/m ³	23.544円/m ³	9.99%
		31m ³ ～100m ³	280.800円/m ³	45.144円/m ³	19.16%
		100m ³ 超	301.320円/m ³	65.664円/m ³	27.86%
(7) 臨時用		1m ³	528.120円/m ³		

(2) メーター使用料(消費税込月額)

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	125mm以上
使用料	86.40円	140.40円	162.00円	248.40円	324.00円	1,177.20円	1,414.80円	1,652.40円	市長別途設定

(3) 料金改定等

最終料金改定年月日	料金の徴収方法	口座振替率(H31.3.31現在)
平成26年4月1日(消費税率変更)	直接納付又は口座振替の方法により隔月徴収	77.9%

8 加入金及び手数料

(1) 加入金(消費税込額)

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	125mm以上
加入金	64,800円	140,400円	243,000円	324,000円	648,000円	972,000円	2,106,000円	3,564,000円	市長が別途設定

(2) 手数料(非課税)

区分	給水管:口径50mm以下・延長100m以下 かつ水栓数20栓以下		左記以外
	新設工事	撤去工事	
設計審査手数料	新設工事	150円	170円
	改造工事	100円	110円
	撤去工事	50円	55円
工事検査手数料	新設工事	1,000円	1,100円
	改造工事	650円	710円
	撤去工事	100円	110円

9 水源

(1) 須賀川地域

No	水源種別	水源名	種別	番号	計画最大取水量	備考
1	表流水	阿武隈川水系釈迦堂川	河川水		19,800m ³ /日	S39.9.12水利権取得
2	地下水	岩渕水源	浅井戸	1号井	1,810m ³ /日	
3			〃	2号井	780m ³ /日	
4			〃	3号井	330m ³ /日	
5			〃	4号井	2,250m ³ /日	
6			〃	5号井	390m ³ /日	
7			〃	6号井	980m ³ /日	第4次拡張事業(H9.10取水開始)
8			深井戸	7号井	960m ³ /日	〃(H14.4 取水開始)
9			〃	8号井	900m ³ /日	〃(〃)
10			〃	9号井	1,020m ³ /日	〃(H13.7 取水開始)
				岩渕水源小計		9,420m ³ /日
11		下江持水源	深井戸		950m ³ /日	第4次拡張事業
12	地下水	向陽町水源	深井戸	1号井	580m ³ /日	第4次拡張事業で統合 (H19.5.29休止)
13			〃	2号井	580m ³ /日	
14			〃	3号井	370m ³ /日	
15			〃	4号井	400m ³ /日	
				向陽町水源小計		
		地下水小計		12,300m ³ /日		
合計					32,100m ³ /日	

(2) 長沼地域

No	水源種別	水源名	種別	番号	計画最大取水量	備考
1	表流水	阿武隈川水系釈迦堂川支江花川小支笠松川(第3水源)	笠松ダム		1,235m ³ /日	
2	湧水	第1水源			340m ³ /日	
3	地下水	第2水源	深井戸		210m ³ /日	
4		第4水源	〃		300m ³ /日	
5		第5水源	〃		650m ³ /日	
6		第6水源	〃		500m ³ /日	
			地下水小計		1,660m ³ /日	
合計					3,235m ³ /日	

(3) 岩瀬地域

No	水源種別	水源名	種別	番号	計画最大取水量	備考
1	表流水	阿武隈川水系滑川支金嶮川(第8水源)	滑川砂防ダム		1,550m ³ /日	S49.7.10 下流関係行政区と同意
2	湧水	第1水源	予備		0m ³ /日	第1～第7水源 S42.3.25 下流関係行政区と同意
3		第2水源			272m ³ /日	
4		第3水源			109m ³ /日	
5		第4水源			93m ³ /日	
6		第5水源			4m ³ /日	
7		第6水源			11m ³ /日	
8		第7水源			26m ³ /日	
			湧水小計			
9	地下水	第9水源			800m ³ /日	(H26.4.1休止)
10		第10水源			800m ³ /日	
		地下水小計			1,600m ³ /日	
合計					3,665m ³ /日	

10 浄水施設

(1) 須賀川地域

No	年月日	内 容
1	S12.3.31	西川浄水場竣工
2	S43.3.31	西川浄水場第1次拡張事業竣工
3	S50.3.31	西川浄水場第2次拡張事業竣工
4	S58.3.17	岩瀬浄水場竣工(第3次拡張事業)
5	S62.3.31	西川浄水場第3次拡張事業竣工
6	H8.3.15	下江持取水場竣工
7	H8.4.1	向陽町浄水場の統合
8	H9.3.21	岩瀬2系浄水場竣工(第4次拡張事業)
9	H9.4.1	西川浄水場管理業務一部委託
10	H26.8.1	包括業務委託(浄水場等運転管理業務)
11	H30.2.28	西川浄水場改築事業前処理施設整備工事竣工
12	H30.12.13	岩瀬浄水場改修事業施設整備工事竣工
13	H31.3.29	西川浄水場改築事業管理本館改築工事竣工

(2) 長沼地域

No	年月日	内 容
1	S47.3.31	長沼第1浄水場竣工
2	S63.2.29	長沼第2浄水場竣工
3	H20.4.1	長沼第1浄水場等運転監視業務委託
4	H26.8.1	包括業務委託(浄水場等運転管理業務)

(3) 岩瀬地域

No	年月日	内 容
1	S44.1.15	大培坂地内浄水施設竣工
2	S50.12.20	岩瀬村浄水場建設工事竣工(第3次拡張事業)
3	H9.3.19	川木之内浄水場建設工事竣工(第4次拡張事業)
4	H20.4.1	岩瀬浄水場等運転監視業務委託
5	H26.8.1	包括業務委託(浄水場等運転管理業務)
6	H29.3.27	岩瀬浄水場改修事業施設整備工事竣工

11 重要施設の耐震化

耐震適合施設数	全施設に対する割合	備 考
19施設	82.6%	総施設数 23施設
耐震適合基幹管路延長	全基幹管路に対する割合	備 考
25,035m	46.2%	

12 設計・施工管理

設計	施工管理
直営及び業者委託	直営

13 配水管等

No	項目	内 容
1	管路延長	588,985m
2	事故対策	① 漏水等緊急工事 ② 第三者による破損事故 ③ 漏水調査 通報者 → 上下水道部 → 緊急漏水修繕工事(業者発注) 原因者負担 給水区域を分割(5区域)し、年次計画により実施
3	図面管理	配給水施設管理システムにより、配給水施設の管種、口径、布設年度等の情報を管理している。

14 水質管理

No	項 目	回 数	対 象	管理方法
1	給水栓水の残留塩素・色・濁りの検査	毎 日	末端給水栓(21ヶ所)	委託
2	基準51項目検査	年 8回	給水4件	水道法第20条に基づく検査機関に委託
3	基準40項目検査	年 1回	原水1件	
4	基準12項目検査	年 8回	給水4件	
5	基準 9項目検査	年32回	給水4件	
6	トリハロメタン4物質5項目検査	年12回	原水1件、給水1件	
7	水質管理目標項目	年 3回	原水1件、給水1件	
8	農薬等検査	年 1回	原水1件	
9	クリプトスポリジウム検査	年 4回	原水1件	
10	指標菌(大腸菌・嫌気性芽胞菌)	年 4回	原水1件	
11	アンモニア性窒素	年 2回	原水1件	

※ 上記の表は西川浄水場における検査内容で他の施設は必要項目を随時実施

15 給水装置工事

指定給水装置工事事業者

- ・指定業者数 162業者（うち市内業者64業者）
- ・有資格期限 無期限
- ・指定手数料 10,000円

16 営業業務関係

(1) 諮問機関

- ① 須賀川市水道料金審議会条例制定(昭和63年3月)[平成13年3月廃止]
- ② 須賀川市水道事業経営審議会条例制定(平成13年3月)

(2) 供給規程(水道法第14条)

須賀川市水道事業給水条例(昭和34年7月1日施行)

・用途別段階別従量制

例: 家事用	10 ^m まで	(基本料金)	}	4段階
	11~20 ^m			
	21~30 ^m			
	30 ^m 超			

(3) 料金改定経緯

改定年月	改定率	備 考
S47.11	24.40%	
S49.7	41.10%	
S51.11	24.40%	
S58.4	36.66%	
S61.4	29.58%	
H17.10	39.00%	・H17.10~ 13%増 ・H18.10~ 26%増 ・H19.10~ 39%増
H21.4		長沼・岩瀬地域の料金を須賀川地域の料金に統一 (H21.4からH23.4まで激変緩和期間を設け統一)

(4) 加入金

給水装置の新設・改造時に徴収 [H30年度 40,969.8千円(消費税込) H31.3.31現在]

(5) 検針・開閉栓業務(包括業務委託を含む。)

業務名	委託先	業務委託期間
検針業務	(株)アクアテクノ須賀川	平成31年4月1日～ 令和6年3月31日 (5年間)
開閉栓業務		
	平日	
	休・祝日	

(6) 上下水道使用料金計算等業務 … (株)アクアテクノ須賀川に委託

(7) 料金の収納

① 窓口払取扱金融機関等

市の取扱機関	水道お客さまセンター、長沼・岩瀬市民サービスセンター
金融機関 (8金融機関)	須賀川信用金庫、東邦銀行、大東銀行、福島銀行、常陽銀行、 夢みなみ農業協同組合、福島県商工信用組合、東北労働金庫
上記以外	コンビニエンスストア

② 口座振替

振替日	月末営業日の3営業日前		
取扱金融機関 (9金融機関)	須賀川信用金庫、東邦銀行、大東銀行、福島銀行、常陽銀行、ゆうちょ銀行、 夢みなみ農業協同組合、福島県商工信用組合、東北労働金庫		
振替手数料	ゆうちょ銀行	10円/件	水道料金等の口座振替に 関する協定締結
	上記以外の金融機関	10円/件 + 消費税	

③ 督促

振替不能者への対応	振替不能日の翌月5日に振替不能通知書を発送
未納者への対応	納期限の翌月10日に督促状を発送
給水停止措置	納期限の翌々月の10日に給水停止予告書を発送 支払期限(25日)経過後も未納の場合に停水

17 防災対策

(1) 施設災害に対する加入保険

種 別	加入保険名	取扱保険機関名
管路	水道賠償責任保険	(公社)日本水道協会
建物、機械設備等	建物総合損害共済	(公社)全国市有物件災害共済会

(2) 災害時の協定

締結の相手方	締結時期	協定の名称
須賀川市管工事協同組合	平成13年4月	災害時の水道施設復旧支援に関する協定
(株)アクアテクノ須賀川	平成31年4月	災害時応援協力に関する協定

(3) 須賀川市地域防災計画

計画に盛り込まれた項目	①応急給水 ②応急復旧 ③水質保全 ④配水塔、調整池による水量確保 ⑤緊急用耐震性飲料水貯水槽
-------------	--

18 経営改善取組状況

(1) 水道事業包括業務委託

委託の目的	水道施設の運転管理・料金関係・配給水施設管理の3業務を、一括して水道技術管理者の責務を含め民間業者に委託することで、水道サービスの向上と業務の一層の効率化を進め、安全で安定した水道事業運営を持続的に行うことを目的とする。
契約の相手方	(株)アクアテクノ須賀川
契約期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年)
契約額	1,216,512,000円

年度別・業務別執行予定額

金額単位:円

区分	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	計	割合
原水及び浄水費	142,879,408	143,736,553	143,571,813	143,571,813	143,571,813	717,331,400	59.0%
配水及び給水費	33,301,831	33,740,944	31,982,171	31,982,171	31,982,171	162,989,288	13.4%
業務費	76,237,801	64,566,667	56,068,638	69,736,252	69,581,954	336,191,312	27.6%
計	252,419,040	242,044,164	231,622,622	245,290,236	245,135,938	1,216,512,000	100%

(2) 職員の配置

H31.4.1現在の職員配置状況

区分	H30.4.1	H31.4.1	増減	備考
経営課	7人	7人	0人	上下水道部長を除く
水道施設課	13人	13人	0人	
計	20人	20人	0人	

(3) 事務事業のOA化・機械化

No	OA化・機械化システム名	委託先
1	企業会計システム	(株)ぎょうせい
2	水道料金システム	(株)BSNアイネット
3	浄水管理センター中央集中管理システム(機械)	機械の修繕等:(株)東芝 機械の操作:(株)アクアテクノ須賀川
4	設計積算システム	(一財) Fukushima市町村支援機構
5	配給水施設管理システム	(株)FSK

19 推進する事業

事業名	事業内容
「水道ビジョンすかがわ2020」 後期4年プランの推進 (平成29年度～令和2年度)	全41事業(うち重点取組事業 8事業 経営課3事業 水道施設課5事業)

後期4年プラン実施予定事業

目標	基本施策	実施施策	No.	事業番号	具体的な取り組み	事業内容				10年プラン目標値	予定事業期間	
						平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
安心・安全な水をお届けします	水需要に対応する水源確保	新たな水源の開発	1	1-1	地下水調査の実施	地下水調査箇所の検討	地下水調査箇所の検討	地下水調査箇所の検討	地下水調査の実施 (電気探査)	100.0%	平成23年度～平成32年度 (10年間)	
			2	1-2	新規水利権取得の調査	新規水源の調査研究	新規水源の調査研究	新規水源の調査研究	新規水源の調査研究	100.0%	平成23年度～平成32年度 (10年間)	
			3	1-3	広域化の調査研究	広域化の調査研究	広域化の調査研究	広域化の調査研究	広域化の調査研究	100.0%	平成23年度～平成32年度 (10年間)	
	既存水源の維持	既得水利権の維持	水源保安林の涵養	4	1-4	既得水利権の適時更新	既得水利権の継続維持 (河川取水量の報告)	既得水利権の継続維持 (河川取水量の報告) (既得水利権更新に伴う委託業務)	既得水利権の更新	既得水利権の継続維持 (河川取水量の報告)	継続	平成23年度～継続
				5	1-5	水源の森の保全	下刈作業の実施	下刈作業の実施	下刈作業の実施	下刈作業の実施	継続	平成23年度～継続
				6	1-6	地下水の維持	既存水源井の洗浄実施 (岩淵浄水場7号井) (累計 5か所/7か所)		既存水源井の洗浄実施 (長沼第4水源4-1号井) (累計 6か所/7か所)	既存水源井の洗浄実施 (長沼第4水源4-2号井) (累計 7か所/7か所)	100.0%	平成23年度～平成32年度 (10年間)
	水質管理の強化	水質検査の充実	色・濁り対策	7	1-7	検査頻度の拡大	全項目とクリプトスポリジウムの検査 回数の増加	全項目とクリプトスポリジウムの検査 回数の増加	全項目とクリプトスポリジウムの検査 回数の増加	全項目とクリプトスポリジウムの検査 回数の増加	継続	平成23年度～継続
				8	1-8	水質検査結果の公表回数の増加	水質検査翌月に結果公表	水質検査翌月に結果公表	水質検査翌月に結果公表	水質検査翌月に結果公表	継続	平成23年度～継続
		クリプトスポリジウム対策	9	1-9	岩淵浄水場の改修	排水池改修工、PAC注入設備工、 電気設備工	排水池改修工、PAC注入設備工、 電気設備工			100.0%	平成27年度～平成30年度 (4年間)	
			10	1-11	勢至堂簡易水道浄水施設の改修	実施設計	クリプトスポリジウム除去設備整備工 事			100.0%	平成27年度～平成30年度 (4年間)	
		11	1-12	配水塔等の内部洗浄の実施	志茂配水池・龍舞沢配水池 (累計 14か所/20か所)	向陽町配水塔・石倉山配水池 (累計 16か所/20か所)	大栗調整池・羽山調整池 (累計 18か所/20か所)	市内配水塔・江花配水池 (累計 20か所/20か所)	100.0%	平成23年度～平成32年度 (10年間)		
	水道施設の安全管理の強化	給水管の安全対策	貯水槽水道の安全管理	12	1-15	鉛製給水管の解消	鉛製給水管の布設替え 200件 (累計 1,164件/3,365件)	鉛製給水管の布設替え 200件 (累計 1,364件/3,365件)	鉛製給水管の布設替え 200件 (累計 1,564件/3,365件)	鉛製給水管の布設替え 200件 (累計 1,764件/3,365件)	52.4%	平成23年度～平成42年度 (20年間)
				13	1-16	直結給水取扱規程の制定	直結給水取扱規程の内容を整理する。	直結給水取扱規程の内容を整理する。	直結給水取扱規程を制定する。		100.0%	平成23年度～平成31年度 (9年間)
		14		1-17	貯水槽水道の安全管理の啓蒙	市広報誌等への貯水槽水道記事の掲載 (継続実施)	市広報誌等への貯水槽水道記事の掲載 (継続実施)	市広報誌等への貯水槽水道記事の掲載 (継続実施)	市広報誌等への貯水槽水道記事の掲載 (継続実施)	継続	平成23年度～継続	

※ ○後期4年プランの目標値で、「継続」となっている事業は、4年プランでは目標値を設定しない事業です。

○目標値算出方法 : ★事業内容に延長や箇所数の記載があるもの=実施延長(箇所)/総延長(箇所) ★事業内容に延長や箇所数の記載がないものうち費用が発生するもの=期間内の費用/総費用 ★事業内容に延長や箇所数の記載がないもので費用が発生しないもの=事務の進捗割合

○老朽化施設の更新のうち、配水管の更新を除く事業は、定期的な更新事業のため、今後20年間において実施する事業を100%としています。

後期4年プラン実施予定事業

目標	基本施策	実施施策	No.	事業番号	具体的な取り組み		事業内容				10年プラン目標値	予定事業期間	
							平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
いつでも水をお届けします	耐震化施設の構築	重要施設の耐震化	15	2-1-1	浄水施設の耐震化	西川浄水場	前処理施設整備工事（H29完成） 急速ろ過施設実施設計、管理本館改築工	管理本館改築工、電気計装設備工	電気計装設備工、急速ろ過池施設整備工	急速ろ過池施設整備工	86.2%	平成23年度～平成33年度（11年間）	
		重要管路の耐震化	16	2-3-1	基幹管路の耐震化	西川系導水管			導水管布設替工事 355m （累計355m/711m）	導水管布設替工事 356m （累計711m/711m）	100.0%	平成31年度～平成32年度（2年間）	
			17	2-3-2	基幹管路の耐震化	配水本管（石綿以外管）	石綿セメント管布設替工事 1,090m （累計6,093m/15,791m）	石綿セメント管布設替工事 850m （累計6,943m/15,791m）	石綿セメント管布設替工事 1,350m （累計8,293m/15,791m）	石綿セメント管布設替工事 1,000m （累計9,293m/15,791m）	58.8%	平成23年度～平成42年度（20年間）	
	災害対策施設の構築	施設保護の強化	18	2-6	浄水施設の強化	向陽町浄水場			向陽町浄水場テレメータ装置設置	向陽町浄水場テレメータ装置設置	100.0%	平成31年度～平成32年度（2年間）	
			19	2-7	送水施設の強化	長沼第1系			長沼第1浄水場送水施設 （緊急遮断弁・遮断弁制御盤・テレメータ設置）	長沼第1浄水場送水施設 （緊急遮断弁・遮断弁制御盤・テレメータ設置）	100.0%	平成31年度～平成32年度（2年間）	
			20	2-8-2	配水施設の強化	江花配水池			江花配水池（緊急遮断弁、遮断弁制御盤、テレメータ設置）	江花配水池（緊急遮断弁、遮断弁制御盤、テレメータ設置）	100.0%	平成31年度～平成32年度（2年間）	
	施設管理の効率化の推進	水道施設統廃合の推進	21	2-10	長沼第2浄水場の廃止					長沼第2浄水場の稼働停止	100.0%	平成32年度～平成32年度（1年間）	
	施設の適時更新の推進	老朽化施設の更新	22	2-15	取水施設の更新		岩淵7号井取水ポンプ		岩淵2号井取水ポンプ 長沼第4水源1号取水ポンプ	岩淵3号井取水ポンプ 長沼第4水源2号取水ポンプ	16.0%	平成23年度～平成42年度（20年間）	
			23	2-16	浄水施設の更新		岩淵浄水場3号ろ過ポンプ		岩淵浄水場4号ろ過ポンプ 長沼第1浄水場ろ過機洗浄ポンプ	岩淵浄水場次亜塩素素注入ポンプ	3.5%	平成23年度～平成42年度（20年間）	
			24	2-17	送水施設の更新		岩淵浄水場古内送水管電動弁		向陽町浄水場排水ポンプ	下江持水源テレメータ装置 長沼第1浄水場テレメータ装置	下江持水源テレメータ装置	49.4%	平成23年度～平成42年度（20年間）
			25	2-18	配水施設の更新		配水施設の更新 （下小山田揚水ポンプ・電源装置）		配水施設の更新 （塩田揚水ポンプ、下小山田揚水ポンプ塩素注入ポンプ）	配水施設の更新 （大栗揚水ポンプ・電源装置・塩素注入ポンプ）	配水施設の更新 （雨田揚水ポンプ・電源装置・塩素注入ポンプ、羽山電源装置・塩素注入ポンプ）	21.5%	平成25年度～平成42年度（18年間）
			26	2-19-1	配水管の更新	基幹管路（配水本管）	滑川橋添架管（県道須賀川二本松線）の更新				滑川橋添架管（国道4号）の更新	100.0%	平成24年度～平成32年度（9年間）
			27	2-19-3		一般管路（PVC管）	TS型ビニル管の布設替え 1,158m （累計 4,291m/17,962m） 連合給水管の事前調査	TS型ビニル管の布設替え 790m （累計 5,081m/17,962m） 連合給水管の調査	TS型ビニル管の布設替え 790m （累計 5,871m/17,962m） 配水小管の対象検討	TS型ビニル管の布設替え 955m （累計 6,826m/17,962m） 配水小管の取扱方針の整備	38.0%	平成23年度～平成42年度（20年間）	
			28	2-20	勢至堂簡易水道管路の更新	基幹管路（鋼管）	配水管の布設替え 1,146m					100.0%	平成28年度～平成29年度（2年間）
	災害対策体制の強化	災害等復旧支援体制の確立	29	2-26	災害訓練の充実		職員の災害訓練参加		職員の災害訓練参加	職員の災害訓練参加	職員の災害訓練参加	継続	平成23年度～ 継続
渇水対策の強化	原水水量の確保	30	2-28	関係機関との協力体制の構築		関係機関との協力体制の構築		関係機関との協力体制の構築	関係機関との協力体制の構築	関係機関との協力体制の構築	継続	平成23年度～ 継続	

※ ○後期4年プランの目標値で、「継続」となっている事業は、4年プランでは目標値を設定しない事業です。

○目標値算出方法：★事業内容に延長や箇所数の記載があるもの＝実施延長（箇所）/総延長（箇所） ★事業内容に延長や箇所数の記載がないものうち費用が発生するもの＝期間内の費用/総費用 ★事業内容に延長や箇所数の記載がないもので費用が発生しないもの＝事務の進捗割合

○老朽化施設の更新のうち、配水管の更新を除く事業は、定期的な更新事業のため、今後20年間において実施する事業を100%としています。

後期4年プラン実施予定事業

目標	基本施策	実施施策	No.	事業番号	具体的な取り組み	事業内容				10年プラン目標値	予定事業期間
						平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
下水道料金等の適正化の推進	水道料金等の適正化の推進	新たな水道料金体系の構築	31	3-1	水道料金算定要領の策定	水道料金算定要領（日本水道協会）を基に水道料金算定要領（須賀川市版）作成・校正	水道料金算定要領（日本水道協会）を基に水道料金算定要領（須賀川市版）作成・校正	水道料金算定要領（日本水道協会）を基に水道料金算定要領（須賀川市版）作成・校正	水道料金算定要領（須賀川市版）の策定	100.0%	平成23年度～平成32年度（10年間）
			32	3-2	口径別料金体系の導入	口径別料金体系と用途別料金体系の比較検討	口径別料金体系の導入検討	口径別料金体系導入時期等の方針決定	関係機関等への説明	100.0%	平成23年度～平成32年度（10年間）
			33	3-3	逓増型料金体系の見直し	逓増型料金体系の見直し検討	単一型料金と逓増型料金の比較検討	逓増型料金体系の見直し方針決定	関係機関等への説明	100.0%	平成23年度～平成32年度（10年間）
	34	3-7	経営指標(PI)による経営分析の実施	経営指標による経営分析の実施	経営指標による経営分析の実施	経営指標による経営分析の実施	経営指標による経営分析の実施	経営指標による経営分析の実施	継続	平成23年度～	継続
	35	3-12	経営改革プロジェクトチームによる水道ビジョン進行調整及び評価の実施	個別問題の検討及び水道ビジョン評価の実施	個別問題の検討及び水道ビジョン評価の実施	個別問題の検討及び水道ビジョン評価の実施及び次期ビジョンの計画立案	個別問題の検討及び水道ビジョン評価の実施及び次期ビジョン策定	100.0%	平成23年度～平成32年度（10年間）		
	36	3-17	低有収率地区の重点調査の実施	漏水調査の実施（須賀川北西部・岩瀬地区）	漏水調査の実施（須賀川東部・長沼地区）	漏水調査の実施（須賀川西部地区）	漏水調査の実施（須賀川中部地区）	100.0%	平成23年度～平成32年度（10年間）		
37	3-19	事業認可の変更	簡易水道の地方公営企業法適用	事業認可の変更		事業認可の変更（統合）		100.0%	平成28年度～平成31年度（4年間）		
水道環境の推進	環境負荷の低減	消費電力の低減	38	5-2	省電力型機器の導入	省電力型機器の調査・選定	省電力型機器の調査・選定	省電力型機器の調査・選定	省電力型機器の調査・選定	100.0%	平成23年度～平成32年度（10年間）
			39	5-3	水道施設の電力消費量の低減	省電力運転方法の実施	省電力運転方法の実施	省電力運転方法の実施	省電力運転方法の実施	100.0%	平成23年度～平成32年度（10年間）
	40	5-5	グリーン購入の推進及び休憩時室内消灯	グリーン購入の推進及び休憩時室内消灯	グリーン購入の推進及び休憩時室内消灯	グリーン購入の推進及び休憩時室内消灯	グリーン購入の推進及び休憩時室内消灯	継続	平成23年度～	継続	
	41	5-6	節水標語の印刷物への表示	節水標語の印刷物への表示	節水標語の印刷物への表示	節水標語の印刷物への表示	節水標語の印刷物への表示	継続	平成23年度～	継続	

※ ○後期4年プランの目標値で、「継続」となっている事業は、4年プランでは目標値を設定しない事業です。

○目標値算出方法： ★事業内容に延長や箇所数の記載があるもの＝実施延長(箇所)/総延長(箇所) ★事業内容に延長や箇所数の記載がないもの＝費用が発生するもの＝期間内の費用/総費用 ★事業内容に延長や箇所数の記載がないもの＝費用が発生しないもの＝事務の進捗割合